

選ぶ 歩む 拓く



第1回進路希望調査を配付しました

本日、3年生最初の進路希望調査を配付しました。調査結果をもとに、担任と生徒の二者懇談・保護者の方を交えての三者懇談を行い、卒業後の進路を一緒に考えていきます。3年生として、自身の進路と真剣に向き合い、現時点での自分の目標をはっきりさせるためにも、家庭でしっかりと話し合い、進路希望調査に取り組んでください。本日配付した進路希望調査は、皆さんが3年生で初めて手にする進路関係の重要書類です。取扱いに十分注意をしてください。

保護者の皆様も、この通信に記載されている留意事項をご一読いただき、進路希望調査の記入にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

【 進路書類の記入に関する留意事項 】

(1) 提出期日を必ず守る

進路関係の書類は、提出期限が厳しく設定されています。上級学校へ提出する書類の場合、どのような事情があっても、提出期限を過ぎた書類に対する配慮はされません。そのため進路希望調査も、同様の扱いとします。今回の調査の提出期限は5月28日(水)朝のSTです。

(2) 家庭でよく話し合って記入する

生徒の進路を決定するためには、保護者・生徒双方の同意が必要です。保護者・生徒ともに納得のできる進路選択をするためにも、進路希望調査を記入する際には、しっかりと話し合って記入するようにしてください。なお、生徒名は生徒自身で、保護者氏名は保護者の方で記入してください。

(3) 記入には、黒インクのボールペンを使用する

重要書類は、黒インクのボールペンで記入してください。消すことのできるボールペンは使用できません。間違えた場合は、定規で黒色二重線を引いて訂正し、書き直してください。訂正印は必要ありません。修正テープ等は使用しないでください。

(4) 記入する上級学校名は正式名称を記入する

- ・ 公立高校の場合は、愛知県立 or 名古屋市立も記入します。
- ・ 「〇〇高等学校」と記入します。←「〇〇高校」は正式名称ではありません。
※ 例：津島高校の場合は「愛知県立津島高等学校」が正式名称です。
- ・ 私立高校は、省略せずに正式名称を記入します。（「学校法人～」は不要）
※ 例：「愛工大名電」「名電」→「愛知工業大学名電高等学校」が正式名称です。
- ・ 学校名、学科名、コース名を記入する際は、「公立高等学校・特別支援学校・国立高等学校 科・郡グループ一覧」、「私立高等学校・専修学校・通信制学校 学科コース一覧」を参照してください。

(5) 公立高等学校の記入について

① 公立高等学校普通科の群・グループの記入の仕方

- ・ 尾張第1群 A グループ→「1・A」 ・ 尾張第1群 B グループ→「1・B」
- ・ 尾張第2群 A グループ→「2・A」 ・ 尾張第2群 B グループ→「2・B」
- ・ 1・2群共通 A グループ→「共・A」 ・ 1・2群共通 B グループ→「共・B」

※ 私立, 専修, 通信制の学校については, 群・グループはありません。

② 専門学科について

- ・ 専門学科には群はないため, A・Bのみを記入してください。

※ 「美和高校 地域探究科」「惟信高校 未来探究科」は募集では普通科扱いとなるため, 群があります。

- ・ 一括募集について

複数の学科を一括で募集している場合, 学科の頭文字を「・」でつないで表記してあります。全ての学科を一括募集している場合は「全科」と表記します。実際に入試で使用する学科名も, 「・」でつないだ名称, もしくは全科を使用します。(下に例を示します)

愛西工科・・・「ロボット工学科」「機械科」「電子工学科」を一括募集
→「ロ・機・電科」

佐屋・・・「園芸科学科」「生物生産科」を一括募集 →「園・生科」

「生活文化科」「ライフコーディネート」を一括募集 →「生・ラ科」

津島北翔・・・「地域ビジネス科」「ITビジネス科」を一括募集 →「地・I 科」

愛知商業・・・「グローバルビジネス科」「会計ビジネス科」「ITビジネス科」
3つのすべての学科を一括募集 →「全科」

(6) 学校番号を, 別紙で確認し, 記入する

「公立高等学校・特別支援学校・国立高等学校 科・郡グループ 一覧」,
「私立高等学校・専修学校・通信制学校 学科コース一覧」に, 学校番号が
掲載されています。希望する学校, 学科・コースの学校番号を確認し, 記入
してください。表に記載のない学校については, 学校番号には0を記入して
ください。

(7) 進学希望先として記載した学校の中での希望順位を記入する

進路希望調査の全ての欄を埋める必要はありませんが, 受検・受験をする
可能性がある学校は, 今後の進路指導の参考にするので, 記入をお願いし
ます。また, その記入した学校の希望順位を記入してください。

(8) 書類は丁寧に・慎重に扱うこと

自分自身の将来に誠実に向き合うためにも, 書類の
取扱は丁寧に, 慎重に行いましょう。

真剣に自分と向き合って
家庭で話し合おう!!

